

第3回検討会の討議事項について

MAFF

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

農林水産省

ガイドライン骨子案等について

- 第1回及び第2回における各委員のご意見を踏まえ、ガイドラインの作成方針として骨子案を作成。
- その他、アクティビティ案及びロジックモデル案は各委員のご意見を踏まえつつ内容を調整中。

目次イメージ

はじめに

本ガイドラインの活用方法

1. 農山漁村における課題を有している自治体
2. 農山漁村の課題を解決する民間事業者
3. 資金拠出・人材派遣元となりうる民間事業者

第1章: 官民共創による農山漁村の課題解決の基本的な考え方

1. 農山漁村をめぐる事情
2. 成功事例とそのポイント
3. 民間事業者からの農山漁村への資金拠出・人材派遣の方法
4. 農山漁村への資金拠出・人材派遣に必要なインパクトの視点

第2章: 農山漁村の課題解決に対するインパクト評価の方法

1. インパクト評価のプロセス
2. インパクト設定、事前評価(ロジックモデルの作成)
3. 事後評価
4. インパクト開示

第3章: 農山漁村におけるアクティビティと「社会課題」へのロジック(繋がり方)の7類型

1. SDGs等の指標と関連するインパクト
2. 農山漁村の課題の構造化とボトルネックの抽出
3. 農山漁村の課題を解決するアクティビティ、ロジックモデル
4. 各アクティビティの事例

第4章: 事例創出のコミュニケーション

1. 出し手となりうる具体的なリスト
2. 訴求の方法
3. 今後の支援策(モデル選定、案件形成に対する支援、評価・公表・表彰等)
4. 参考となる施策やガイドライン一覧